

茶屋町新聞

発行者
倉敷市立茶屋町小学校
六年五組

(田中 遙)

発行日
(15)年
(8)月(12)日

茶屋町の干拓について

約40年前

岡山県の南部一帯はかつては「古瀬の海」と呼ばれ大小の島々が点在し、一面の海でした。その広大な浅海川により上流から土砂が運ばれたことで徐々に浅くなり、近世以降の干拓によって陸地に姿をあらわすようになりました。しかし、干拓されたばかりの土地は塩分が多く米作りには向きません。そこで、干拓された当初は塩分に強い綿やヤブガラシが栽培され、現在にながら本市のせんい産業の礎が築かれました。始まりは、干拓地に植えられた一輪の花だったのです。

○ 周辺に干拓された時代は、江戸時代
○ 干拓が完成した年、1707年
1707年だから比較的新しい町です。

昔、茶屋町は「海」だった!! 干拓が来た茶屋町

干拓の方法

干拓は海の中に堤防で囲った中の水を海に出すことで水に変えられます。



埋立との違い

埋立は海の中に土砂を入れて新しく土地を作る方法です。埋立は海より土地が高くなるように作ります。



茶屋町の鬼の歴史

言い伝えによるとこの50年前から茶屋町のお祭り氏神様をお守りすると言われているから出るようになったと言われている。おそろしいと言った鬼ではなくどこかひびくような音を持っていたか、いい鬼だと言われ

戦後の昭和30年おそろしいところからそのすがたをけしこいきました。昭和50年に茶屋町の鬼保た茶屋町の鬼保ぞん会の手によって再び鬼まつりが行われなりました。

茶屋町の鬼について

茶屋町の鬼祭りについて。められた願いは？

江戸時代から茶屋町の鬼は、まよけとして人々に愛されてきた。とに由来し無病息災などを願った。鬼の良い本心です。

鬼祭り何年前から約1000年前からです。

茶屋町の鬼祭りとは何ですか？

いなり神社の秋祭り大祭りに合わせて行なわれれているイベントです。

2014年度からは11月第三日曜日茶屋町の鬼まつりをかいます。

茶屋町鬼祭り何月？

茶屋町の鬼の文化は江戸時代にさかのぼり住吉神社やいなり神社の秋祭りに現れ、町内を練り歩かせる状態がパフォーミング・アートです。

茶屋町インタビュー

★私のお母さんとお父さんに茶屋町の好きな所をインタビューをしました!!

○お母さん

つるぎ公園第二公園が好きです。おくのスペースが広くて子供がたのしみ遊べるようになってきて倉敷川が見える感じがすいから。

○お父さん

金比羅宮遊園が好きです。おじさかできれいで歴史をかんじることが出来るから。

茶屋町が干拓されたのは知っていたけれど干拓がなぜされたのか分かっていなかった。この新聞を書いてくれたおかげで知ることが出来ました。また茶屋町の伝統的な物である鬼祭りは茶屋町鬼保存会のおかげで復活できたから改めてありがとうございます。他にもお父さんとお母さんの事が知れて良かったです。

